

## きほくのまち人探訪



わたなべ かつひこ  
**渡邊 克彦 さん**

2月17日、東京都で行われた「第69回障害者自立更生等厚生労働大臣表彰」において、渡邊克彦さん=出目=に表彰状が授与されました。この表彰は、自らの障がいを克服し、長年にわたり活躍されている方に贈られるもの。渡邊さんは、「一生に一度あるかないかの経験なので驚いた」と、嬉しそうに話します。

松山盲学校を卒業後、鍼灸業を始められた渡邊さんは、現在、鍼灸業はもちろん、将来鍼灸師を目指す方々

の講師としても活躍中。開院して43年、子どもや孫にも恵まれ、日々楽しく暮らしています。

「毎日皆が助けしてくれるから、見えなくても不自由なく暮らせる」と話す渡邊さん。そんな傍らで微笑みながら大きくうなづく妻の純江さんもまた、視覚障がいがあります。どちらかが外出して帰宅すると、聞こえてくるこの会話。「〇〇さんに親切にもらった」、「ありがたいね」、そんな夫婦の会話が2人の幸せを象徴しています。

最近では、音声ガイド付きのパソコンやスマートフォンに挑戦中の渡邊さん。また、純江さんと一緒にタンデム自転車(2人分のサドルとペダルが前後に連なる構造の自転車。前席の人が操作するため、後席に視覚障がいがある人も乗れる)に熱中しているそう。さらに、夏はバナナボートなどのマリンスポーツも楽しんでいと言います。「今になって青春を謳歌している」と、笑みを浮かべながら、夫婦で口を揃えていました。

渡邊さんは、「これからもいろいろなことに挑戦していきたい。そして、何よりも孫の成長が楽しみ。今がとても幸せ」と、日々の幸せを噛みしめておられました。

### 北宇和病院 だより

### 療養病棟 休止の お知らせ

当院では、令和2年4月1日より45床の療養病棟を休止することといたしました。療養病棟は、近年の周辺介護施設等の充実もあり、徐々に入院患者さんが減少しておりました。

また、看護師などのスタッフも確保困難となっており、現在の職員体制では一般と療養の2病棟を運営するのは困難と判断し、地域の入院加療体制を維持していくため、一般病棟55床のみで運営することといたしました。

昨年9月の厚生労働省の発表でもありましたように、今後は、国の方針として、全国的に病床や病院機能の合理化が進められると思われまます。

町民の皆さまにはご不便、ご心配をおかけすることと思いますが、地域の実情に沿った健全な病院経営のために、皆さまのご理解とご協力のほどをよろしくお願いいたします。



### 編集後記

▼4月はさまざまなお出合いが待っている月です。これから始まる新生活に、不安と期待を膨らませている方も多々おられるかと思えます。保育所から小学校へ、小学校から中学校へ、中学校から高校へ、そして高校から大学または就職先へ…。そんな人生の節目、私もとてもドキドキしながら過ごしました。でも、そこには必ず素敵な出合いが待っていました。皆さんにも、素敵な出合いがありますように。

▼今年度取材にご協力いただきました皆さま、誠にありがとうございました。(悠)

### 今月の一枚



人形劇「おおきなかぶ」の「コマ。子どもたちと一緒に「よこしや」と一声！」